

No. 17-14

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 17 - 14

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		2		作成日		26年 6月 12日		
事務事業名		体育施設運営事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち						課名	社会教育課		係名	スポーツ振興係
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる							シート作成者			
	施策	3-1-4 スポーツの振興						予算費目	会計	一般		
		① スポーツ施設の整備充実・有効活用								款	10	
主要施策							項		6			
									目	2		
個別計画名												
住民との関わり		その他										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民・使用者（団体）				スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		住民が利用しやすいよう、施設の計画的整備と利用啓発に努めるとともに、各体育施設において、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。										
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		東員町体育施設の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 東員勤労者体育センター設置及び管理に関する条例										
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		92,281			96,379			104,039				
財源内訳	国庫支出金	0			0			0				
	県支出金	0			0			0				
	地方債	0			0			0				
	その他特定財源	0			0			0				
	一般財源	84,361			91,099			98,759				
直接事業費（千円）A		84,361			91,099			98,759				
人件費（千円）B		7,920			5,280			5,280				
内訳	一般職員（人・千円）	1.20 人	7,920	0.80 人	5,280	0.80 人	5,280					
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0					
成果指標	成果指標名			単位	25年度		26年度	27年度				
					目標	実績	（目標）	（目標）				
	①	年間利用者数		人	154,000	158,695	160,000	160,000				
	②											
③												
説明												

事業名	体育施設運営事業	シート作成課	社会教育課
一次評価者	社会教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明			
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		町民がいつでも気軽に健康増進等目的に運動できるよう施設を維持・管理していくことは必要不可欠である。		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			住民にスポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付け、目的に応じ体力増進を目指す利用者、競技力向上に資するために施設を利用する団体・個人、ファミリースポーツを含めたレクリエーションスポーツなど目的に応じて活用されています。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				一時の施設の利用率の低下がややおさまり、個人の自己管理型スポーツの利用者が増えてきているが、施設の活用を検討する必要性はあります。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

本事務事業の実施適切性の説明

利用者が利用しやすい方法を検討し、PRする必要があります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
今後の改革・改善目標	施設整備や利用方法等、利用者が利用しやすい方法を検討する必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	拡大
コメント	子どもから大人まで利用しやすい方法を検討し、利用者の増加を図ると共に、施設の老朽化や設備の経年劣化など、計画的な修繕・改修に努め、効率的な維持管理が重要です。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--